

Teradata Extreme Performance Appliance 4600

Data Warehousing > Platform

SSD 搭載、世界最速級の DWH アプライアンスが驚異的なスピードでハイパー分析を実現

ビジネスに求められるスピードはますます加速しています。それに伴い、データウェアハウジング・エンジンとビジネス・インテリジェンス(BI)ソリューションに対する期待と要求も高まる一方です。

リアルタイム分析は既に必須のものであり、新鮮なデータに基づいた迅速な行動と敏捷性が企業において重要な差別化要素になっています。

思考速度に匹敵する動作

テラデータは、ソリッド・ステート・ドライブ(SSD)を100%利用した業界初のデータウェアハウス・アプライアンス Teradata Extreme Performance Appliance 4600を、Teradataプラットフォーム・ファミリーの新たなラインナップとして追加しました。

この新しいアプライアンスは、価値の高いビジネス・データに対する分析パフォーマンスを大幅に向上させることを目的としています。優れたスキャン性能と高速データロード機能に加え、クエリーの待機時間が大幅に短縮されるため、イベントに対して秒単位やミリ秒単位の応答が求められるリアルタイム・ビジネス環境において、最適なプラットフォーム・ソリューションとなります。

技術的優位性

Teradataの新しいBlurr™テクノロジーは、高速にロードしたデータを瞬時に分析するデータウェアハウス・ソリューションを実現するため、既存のデータウェアハウス製品ではサポートできなかった新たなアプリケーションの領域が開かれます。

Blurrテクノロジーには、以下のものが含まれています。

- ハード・ディスク・ドライブの機械的動作による遅延を排除した、SSD テクノロジー
- SSDの性能特性を最大限に活用する、Teradata データベースのランダム・アクセス・ファイル・システム
- RAIDを排除してSSDとノードの高速な接続を可能にする、フォールバック・データ保護機能

優れたスケーラビリティ

Teradata Extreme Performance Appliance 4600は超並列処理(MPP)アーキテクチャを採用しているため、



最小構成の3ノードから最大構成の24ノードまで、3ノード単位で増設できます。これにより、ユーザー・データ領域は、2.3テラバイトから18.3テラバイトまで拡張可能です。また、高速な10Gb Ethernetネットワーク・インフラストラクチャを利用するTeradata BYNET®相互接続機能により、優れたスケーラビリティのノード間通信を実現します。

高い可用性と管理の容易性

Teradata独自のクリーク・アーキテクチャは、ノードに障害が発生した場合、クリーク内の他のノードに処理を自動的に引き継ぎます。ハードウェアのコンポーネントは冗長化されており、またフォールバック機能でデータは二重に保護されているため、高い可用性を実現します。

また、業界最先端の統合システム管理インフラストラクチャにより、プラットフォームの管理や制御、そしてシステム監視を一元化できるため、大規模構成であっても容易な管理が可能です。

多くの優位性が高い価値を提供

Teradata Extreme Performance Appliance 4600 がもたらす技術的なメリットとして、次のものがあります。

• **頻繁に使用するデータに対する優れたパフォーマンス**：高い転送速度を実現するSSDは、待機時間が短くアクティブなワークロードで使用されるデータの格納先として最適です。SSDはTeradataノードから直接アクセスされるため、ディスク・アレイによるボトルネックを排除し、SSD本来の性能を発揮します。

• **高速かつ一貫したクエリー応答時間**：オペレーショナルなワークロード環境に求められる厳しいサービス・レベル・アグリーメント(SLA)を遂行できます。一般的な意思決定支援クエリーは、Teradata Active EDW 5600と比較して最大18倍速くなります。

• **最大87%の消費電力の削減**：同等のパフォーマンスを実現するTeradata Active EDW 5600のシステム構成に比べて、以下の削減を実現します。

- 消費電力を最大87%削減
- 設置面積を最大94%削減
- 記憶装置の数が削減されるため、装置の障害発生率が改善し、システムの信頼性が向上

TERADATA
Raising Intelligence

Teradata Extreme Performance Appliance 4600

www.Teradata-j.com

仕様一覧

ノード・スペック	
プロセッサ	2つのデュアル・コアインテル Xeon プロセッサ 2.93GHz、12MB L2 キャッシュ
システム・バス	1333MHz フロントサイド・バス
メモリー	DDR3-1333MHz、DIM モジュール (Registered ECC) 96GB メモリー
内蔵ストレージ装置	450GB SAS ドライブ x3 (標準構成) DVD/CD-ROM ドライブ
インターフェース	6Gb クラウド SAS アダプター x2 (ストレージ接続用) オンボード 1Gb Ethernet ポート (システム管理用) Teradata BYNET 10Gb Ethernet アダプター (BYNET 接続用) 4 ポート 1000 Ethernet アダプター (Copper)、デュアルポート 10Gb Ethernet アダプター (Fibre / Copper)、 デュアルポート 1Gb Ethernet アダプター (Fibre) IBM ESCON / FICON チャンネル接続サポート (チャンネル・ノード経由)
Teradata データベース	Teradata Database 13.0 以降
オペレーティング・システム	Novell SUSE Linux Enterprise Server 10 (64bit)
ストレージ・スペック	
ドライブ・エンクロージャー	1つのドライブ・エンクロージャーに最大12個のSSD搭載 キャビネット当たり、最大6つのエンクロージャー (クレーク毎2つ)
ソリッド・ステート・ドライブ	300GB SSD SAS ドライブ/ノード当たり、8つのSSD ユーザー使用可能容量: クレーク毎2.3TB、キャビネット当たり最大6.9TB
その他サーバー	
サービス・ワークステーション (SWS)	HWシステム監視用コンソール
チャンネル・ノード	IBM ESCON / FICON のホスト接続をサポート
Teradata マネージド・サーバー	各種用途向け (Teradata Viewpoint、BAR、SAS、データロードなど)
バンドル・ソフトウェア	
Teradata データベース	Teradata Database 13.10 以降
ユーティリティ	管理ツール: Teradata Viewpoint データロード: Teradata Parallel Transporter (TPT) Load/Export オペレータ メタデータ管理: Teradata Metadata Services 接続ツール: ODBC、JDBC、CLI、OLE DB Provider、.NET Data Provider SQL生成: Teradata SQL Assistant、Basic Teradata Query Utility (BTEQ) ワークロード管理: Teradata Active Systems Management
キャビネット・スペック	
キャビネット構成	キャビネット当たりの搭載可能なノードは、3ノード・クレーク構成単位で、最大3クレーク (9ノード) まで Teradata マネージド・サーバー、チャンネル・ノード、SWS の合計搭載数 最大 4台まで システム管理インフラストラクチャ (CMIC、サーバー管理ネットワーク) Teradata 10Gb Ethernet BYNET スイッチ フロントドアのオリジナル拡張エアフローは特許取得
寸法・重量	高さ: 195.6cm (フロントドア部: 198.8cm) 幅: 60.96cm (サイドパネル除く) 奥行き: 109.2cm (フロントドア除く) 重量: 735kg (最大構成時)
電源	所要電源: 200/240 VAC、50-60Hz 電流: 30A 消費電力: 最大6640W デュアルAC電源
その他	RoHS指令対応
サポート・サービス	
エンタープライズ・システム・サポート (ESS)	統合されたハードウェアおよびソフトウェアのメンテナンスとサポート リモート・サポート 迅速なレスポンス 柔軟なサポートレベルの選択 (7x24、8x5対応) プロアクティブなシステム監視
実装サービス	システム導入サービス ソフトウェアの導入サービス

TERADATA
Raising Intelligence

日本テラデータ株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 (茅場町タワー)

テラデータ製品に関する情報やお問い合わせは

<http://www.teradata-j.com/>

・TeradataはTeradata Corporationの登録商標です。本文中の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。・本文中に記載されている製品情報は、予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。
・このカタログの記載情報は、2011年12月現在のものです。・このカタログで使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。